

KSKPコリアボランティア協会ニュース, No.21 (1996.12.1号)

コリアボランティア協会編集部編

発行:大阪 : コリアボランティア協会, 1997.1.20. ; 8,[4]p

請求記号:震災-7-z82

※震災関連記事のみテキスト化しています

常駐体制を支えて下さい！

コリアボランティア協会は、震災後、毎週、被災地に通い続けてきました。

まもなく満2年、現在、仮設暮らし約4万世帯。野宿テント暮らし、避難所、県外被災者などを含めると、20数万人のぼる方々が今なお地元にも帰れず、自分の家も持てないまま、先行きのない不安な生活を送っておられます。

前号で紹介した、神戸・長田の西代仮設でも、すでに20名近い方々が亡くなられ、最近になって、ついに自殺者も出ました。精神的におかしくなってしまう方も連鎖反应的に続出しています。

震災2年、のべ百万にのぼるボランティアが支援にかけつけました。しかし財政援助を得られないまま次々撤退を余儀なくされ、来年3月には、外部よりのボランティア団体は、コリアボランティア協会だけとなります。

これから被災地は、ますます日常的な、生活全般に亘るケアが必要となってきます。当協会も、週1回が2回、3回と通う回数を増やしていますが、極めて不十分なケアしかできていません。それにつれ、財政も涸渇寸前に追い込まれています。

年末には、ぜんざい、もちつき、年越しそばなどの炊き出し、年明けには常駐体制をしいて、少しでも十分なケアができるようにし、離れざるを得なかったボランティアの呼び戻しを図りたいと考えています。カンパ、ボランティア協力、ぜひ、皆様の応援をお待ちしています。（鄭チョン）

ご協力をお願いします！

全国チャリティ美術展マラソン

先日10月15日から27日までの間、コリアボランティア協会々員の大田さん御夫婦のアイデアで被災地でもある芦屋の地で『満月展』と称して、チャリティ美術展を開催しました。収益40万円近くをいただき心より感謝しております。

これを機に、東京、北海道、九州など会員のおられる所でチャリティ美術展マラソンを開こう！と企画しております。代表康秀峰の書や、プロアマ問わず、多くの出展をお待ちしております。来年で震災後3年目を迎えようとしています。全国のボランティアの方々と美術を通して輪をつくり、やがては大輪の花となって被災地に大きな花を咲かせましょう！

（収益は被災地支援活動費とさせていただきます。）

会場提供・企画スタッフ・出展希望よろしくお願い致します！